

R7 7月15日(火) 学校安全連絡会議議事録(10時30分~11時15分)

記録 安全主任

1. あいさつ

○会長

- ・子供の安全を見守る見守り隊の状況が危機的状況。今は見守り隊のメンバー募集が難しい。人が足りない。各地区における見守り隊の現状を見直す必要がある。自治会だけでは人を集めきれない。PTAを含めて、人を集める必要がある。

○スクールガードリーダー

- ・見守りを行う際は、体調に気を付けて。今年はとても暑い。
- ・H17 栃木県の小学校2年生の女の子が殺害されてしまったことをきっかけに見守り活動が活発になった。

○校長

- ・日頃の子供の登校の様子。  
良い点：道路の右側を一列で歩いている。挨拶も年々できるようになってきている。  
課題点：見守り隊の方・教員の目がないと、一列で歩くことができていない。

2. 牛島小学校区の様子

(1) 学校からの近況

○教頭

- ・学校での安全教育に対する取り組み  
通学班編成。  
学期2回の一斉下校。  
校長・教頭・生徒指導主任・教員で校門近くの見守り。  
東門からの児童が並列(3列)になっている。

・今年からの変更点

- 車での送迎は8時05分以降。  
登校時間帯7時55分~8時05分の間。早く来た場合は児童棟昇降口で待つ。

(2) PTAからの近況

- ・見守り隊の高齢化が課題。現状として問題が解決していない。  
PTAとして見守りの頻度が足りているのか疑問がある。  
地区で頻度を統一できていない。

(3) 自治会長・見守り隊会より ※▲は課題。

○萩原地区より

▲最初に帰る児童と最後に帰る児童の差が大きすぎる。

▲豊野中児童が道路いっぱいに自転車が広がっている。夏休みに入るので注意喚起をしてほしい。

○牛島3番地区より

・PTAも自治会がやっていることに協力してほしい。

・来年から自転車交通違反摘発が強化される。大人も子供も気を付けなければならぬ。

・学校でも自転車教育を重要視してほしい。

・見守り隊だけではなく、PTAからの参加をもっと積極的に行ってほしい。

・通りに面した家庭は下校時に見守り隊だけではカバーできない。

・地区委員が一人一回行うなど、システムを作っていくないと今の見守り隊は維持できない。

▲牛島小学校区の課題として、挨拶が課題。

▲エンゼルドームと東中の間に不審者がいる。東南アジア系。気を付けてみてほしい。

○牛島2番地区より

・特になし

○牛島1番地区より

・自転車の乗り方は児童・大人関係なくルール順守をしなければいけない。

一時停止・右側歩行などをしっかりとする必要がある。

○牛島4番地区より (不参加のため地区役員さんから)

▲見守り活動をしていて、いつまで立っていていいのか分からぬ。

→他の地区は声をかけている。

→～時までと決めた方がいい。

・3回に分けて帰る際は、見守り活動はなしになるのか。

→3回目(15時40分)はやっていない。

○柳原地区より

・通学路の防犯カメラ率をあげたらどうだろうか。市への要望として。

・朝は地区委員の人が見守りを行っている。

・児童が3回に分けて帰る際は、見守りを3回行っている。2017年から生徒が何時

に帰ったか、記録を取っている。

・児童が帰ってきたときは、「ありがとうございました。」と声をかけられている。

▲現在月、金曜日の班員がいない。

▲児童の帰宅時の隊列が乱れている。

▲見守り隊の募集に関しては声をかけているが、反応はなし。

○新川地区より

・見守りがないが、後ろから通学班の後ろをついている。

○藤が丘地区より

・朝の登校時はまとまっている。

▲下校時は、時間のばらつきがある。学校の方から下校のタイミングをそろえて帰るよう指導をしてほしい。

○野口地区より

・事故、不審者に対応することから、みんなで協力しながら見守ることが大切。体調には気を付けてほしい。

○新川島地区より

・3人ほどで活動している。暑さで見守りを中止するときもある。

○三本木地区より

・見守りは24名で回している。

・通学路のごみ拾いをずっと行っている。タバコ・マスク・尿が入ったペットボトルなどが落ちている。

・児童が石を投げたり蹴ったりしないように注意している。

### 3. 終わりに

○会長

・5、6年前に、PTAからの協力を要請したところ、協力を得ることができなかつた。

・地区的見守りは今のままの人数では無理がある。

・組織化して、各地区で何人か出し合うということをしなければ見守り隊の維持はできない。

○スクールガードリーダー

- ・1学期はとても暑かった。また、2学期も暑くなることが予想される。気を付けてほしい。

○校長

- ・貴重な情報交換ができた。
- ・児童への指導を徹底していく。